

インフレ圧力が弱まる中、ECBは9月の理事会で0.25%の追加利下げを決定



欧州経済

- 9月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は49.6と、パリ五輪による特需の反動もあり、前月（51.0）から低下。好不況の目安である50を7か月ぶりに下回った。
- 9月の消費者物価上昇率は前年比+1.8%と8月の同+2.2%から低下し、3年3か月ぶりに2%を下回った。
- 7月のユーロ圏鉱工業生産指数は前月比-0.3%と6月に続いて弱い動きとなった。一方、8月の小売売上高指数は3か月ぶりに上昇。また9月の消費者信頼感指数は2か月ぶりに改善した。
- 欧州中央銀行（ECB）は9月12日の政策理事会で0.25%の追加利下げを決定した。インフレ圧力が弱まる中、金利先物市場では次回10月の理事会での0.25%の利下げをほぼ織り込んでいる。

本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、レポート執筆時の情報に基づく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に際しては、お客さまご自身の判断にてお取扱いいただきますようお願いいたします。

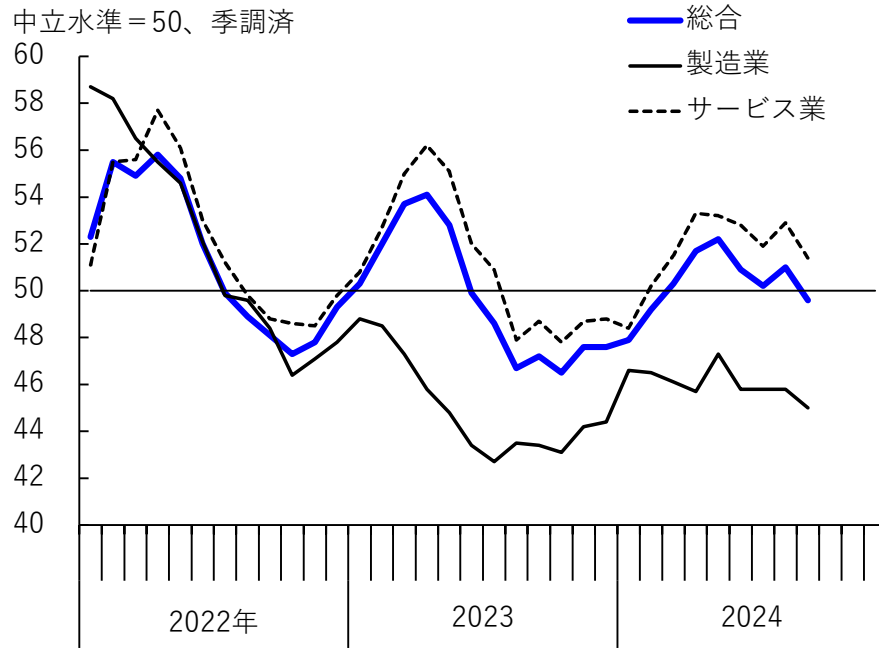




- 9月のユーロ圏の総合PMI（購買担当者景気指数）は49.6と前月（51.0）から低下し、好不況の目安である50を7か月ぶりに下回った。製造業のPMIは45.0、サービス業は51.4と、いずれも前月から低下した。
- 9月の各国別の総合PMIは、ドイツが47.5と前月の48.4から低下した。またフランスはパリ五輪による特需の反動でサービス業のPMIが大幅に低下し、総合PMIも48.6と前月（53.1）から低下した。

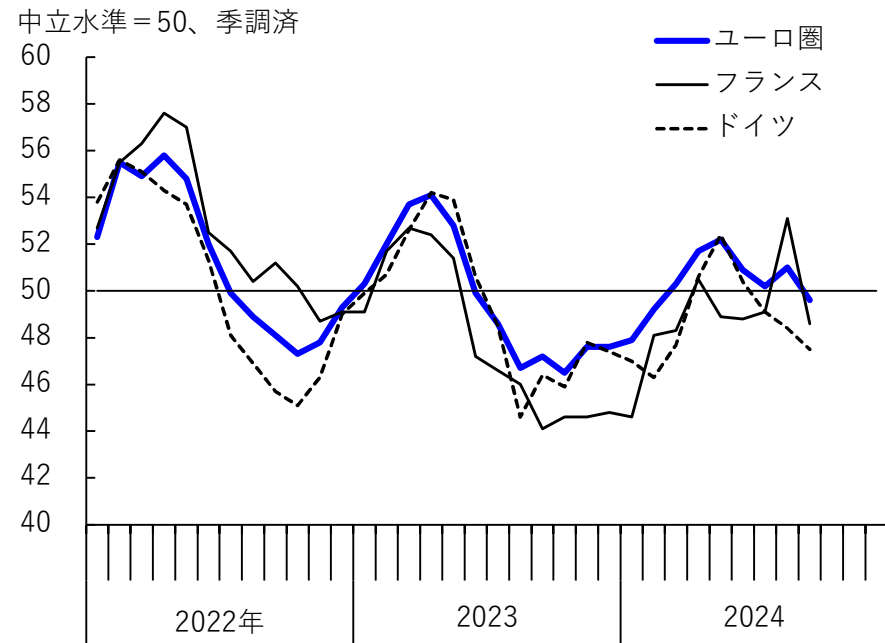
※ユーロ圏PMIの正式名称は、HCOB（ハンブルク商業銀行）ユーロ圏PMI。

ユーロ圏のPMI



出所：S&Pグローバル

主要国のHCOB総合PMI

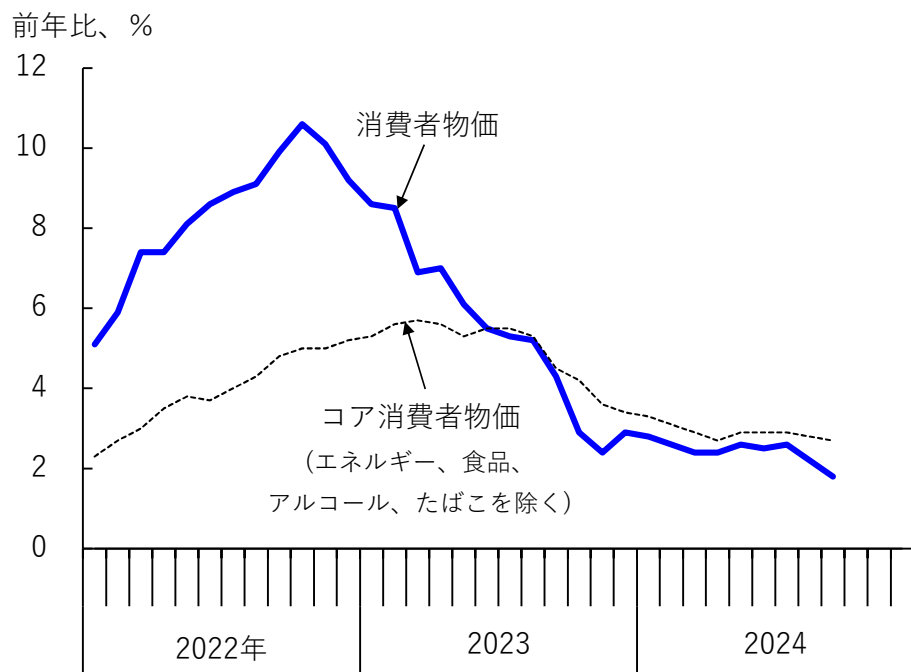


出所：S&Pグローバル



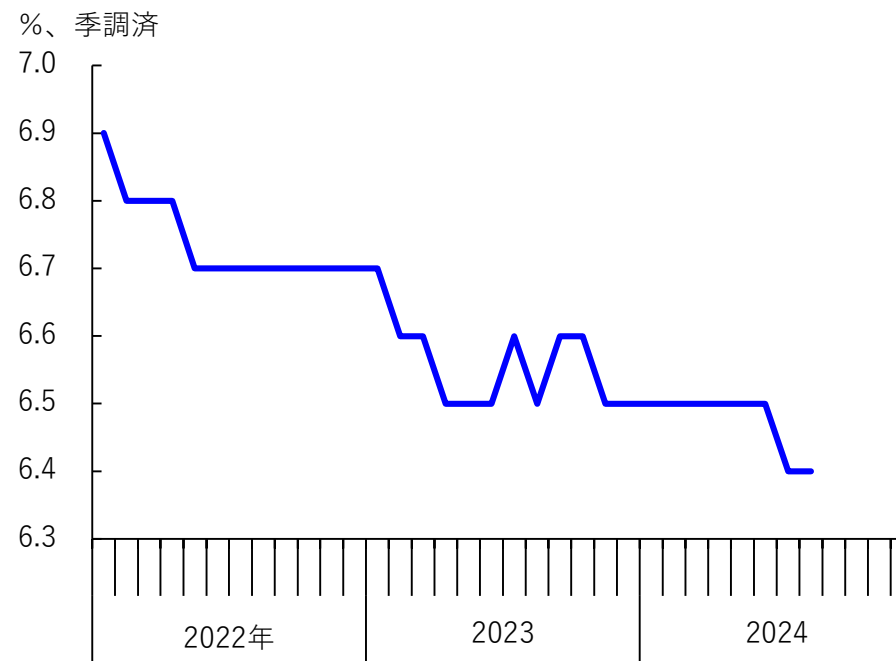
- 9月のユーロ圏消費者物価指数上昇率（速報値）は前年比+1.8%と、8月の同+2.2%から低下し、3年3か月ぶりに2%を下回った。また、エネルギー、食品、アルコール、たばこを除くコア指数も同+2.7%と、前月の同+2.8%から低下した。
 - ー サービス物価の上昇率は前年比+4.0%と8月に比べ若干鈍化した。またエネルギーが同-6.0%と8月と比べてマイナス幅が拡大した。
- 8月のユーロ圏の失業率は6.4%と、前月から横ばいとなった。
 - ー ドイツやフランスの失業率は前月から横ばいだった一方、イタリアが0.2%ポイント低下（改善）した。

ユーロ圏消費者物価指数



注:2024年9月は速報値。
出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏失業率

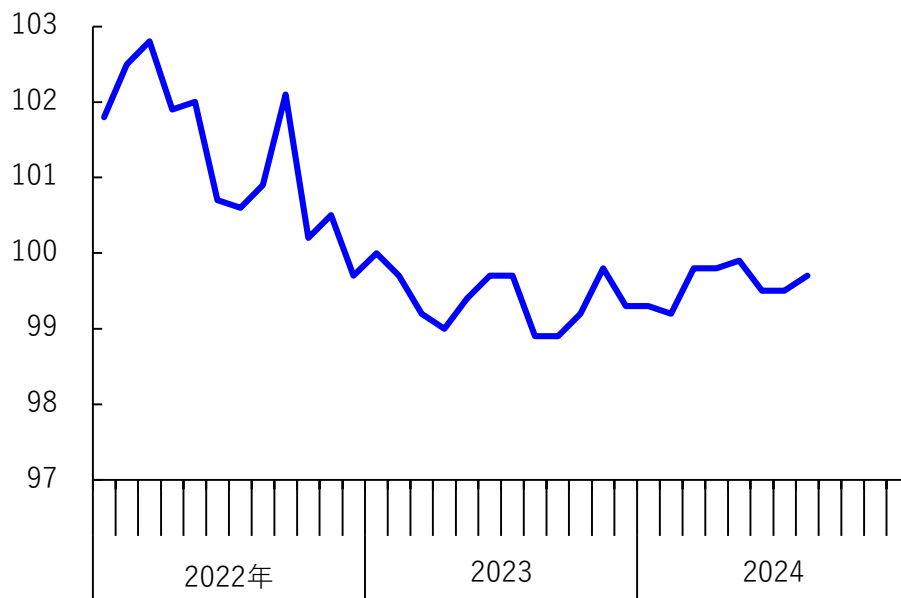


出所：欧州委員会統計局

- 8月のユーロ圏小売売上高指数は前月比+0.2%と、3か月ぶりに上昇した。
 - ー食品・飲料・たばこの支出が前月比+0.2%と2か月連続で増加。また自動車燃料の支出も同+1.1%と3か月ぶりに増加した。
- 9月のユーロ圏消費者信頼感指数は-12.9と、前月から改善した。
 - ードイツの消費者信頼感指数が悪化する一方で、フランスやイタリア、スペインの指数が改善した。

ユーロ圏小売売上高指数

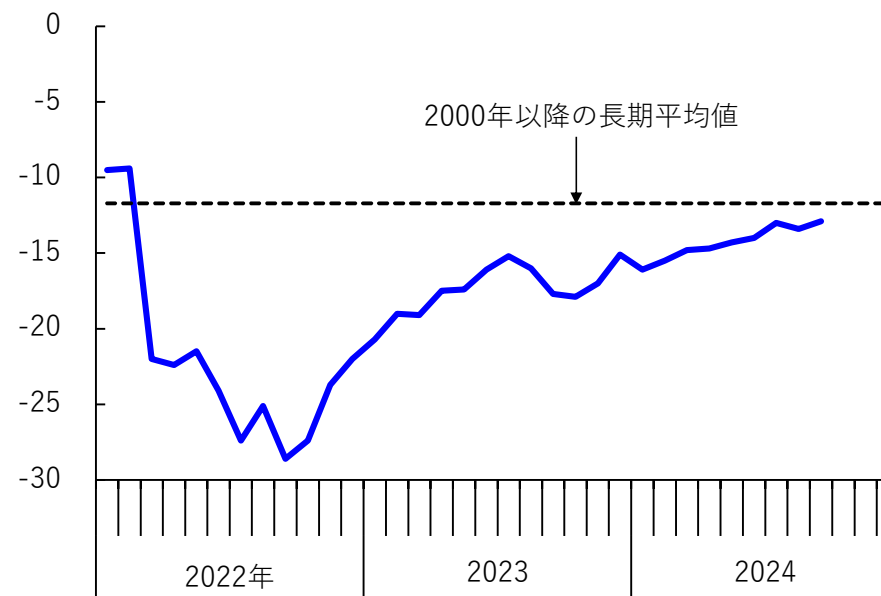
2021年=100、季調済



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏消費者信頼感指数

ポイント、季調済

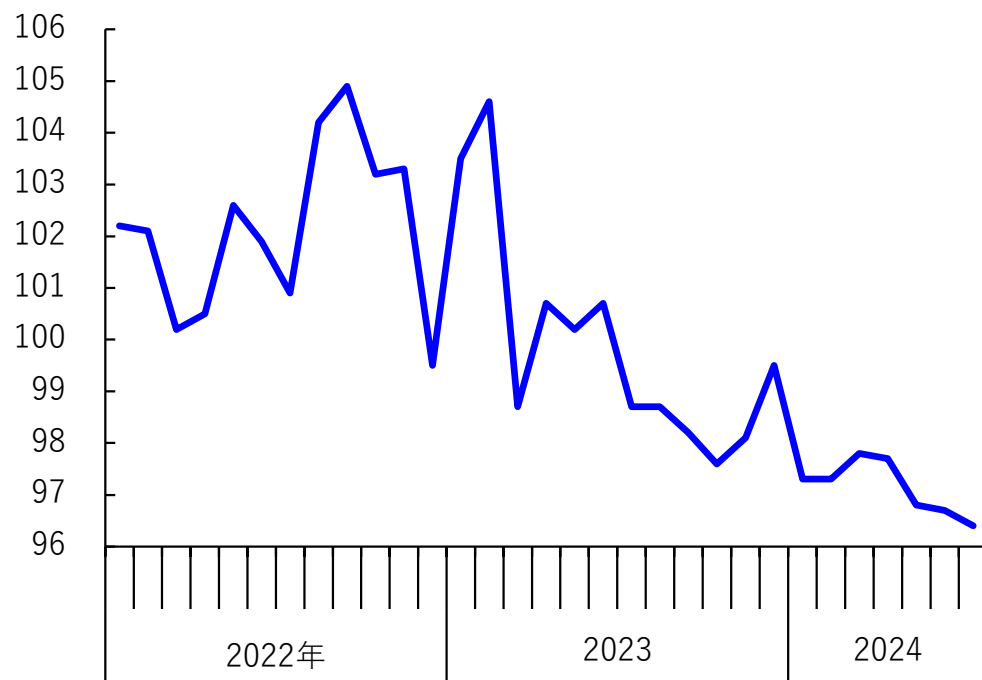


出所：欧州委員会



- 7月のユーロ圏鉱工業生産指数は前月比-0.3%と引き続き弱い動きとなった。財別には非耐久消費財が増加したものの、耐久消費財や資本財などの生産が減少した。
 - 国別にはドイツ（前月比-3.0%）、フランス（同-0.5%）など主要国で生産指数が低下した。
- 7月のユーロ圏建設活動指数は前月比横ばい。
 - ドイツの建設活動指数が前月比+0.3%、スペインが同+0.8%と上昇する一方で、フランスが同-2.2%と大幅な低下に転じた。

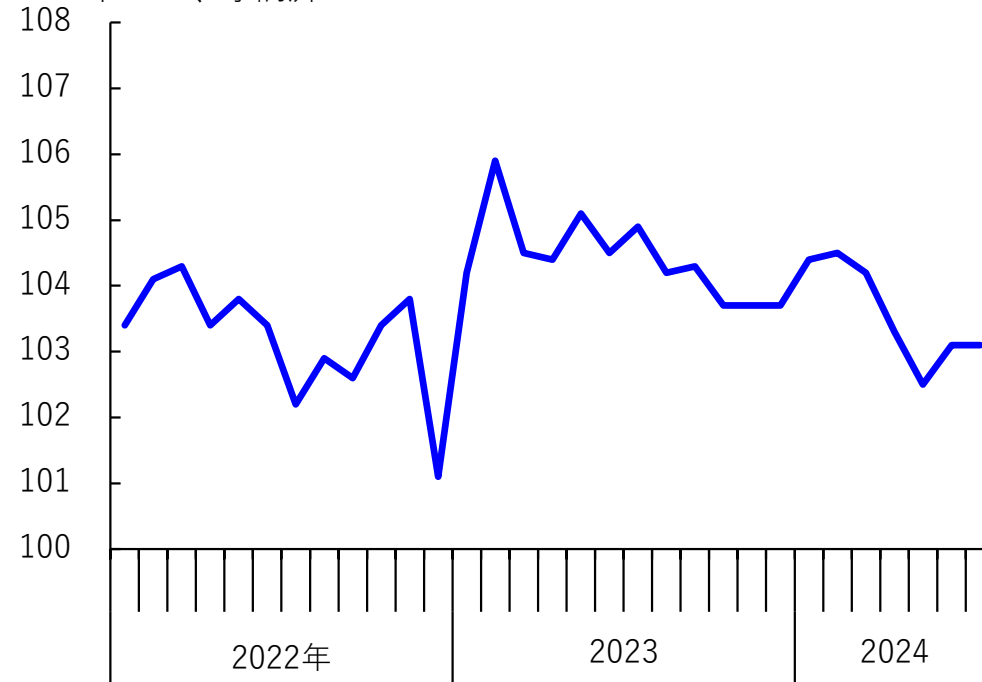
ユーロ圏鉱工業生産指数



出所：欧州委員会統計局

ユーロ圏建設活動指数

2021年=100、季調済



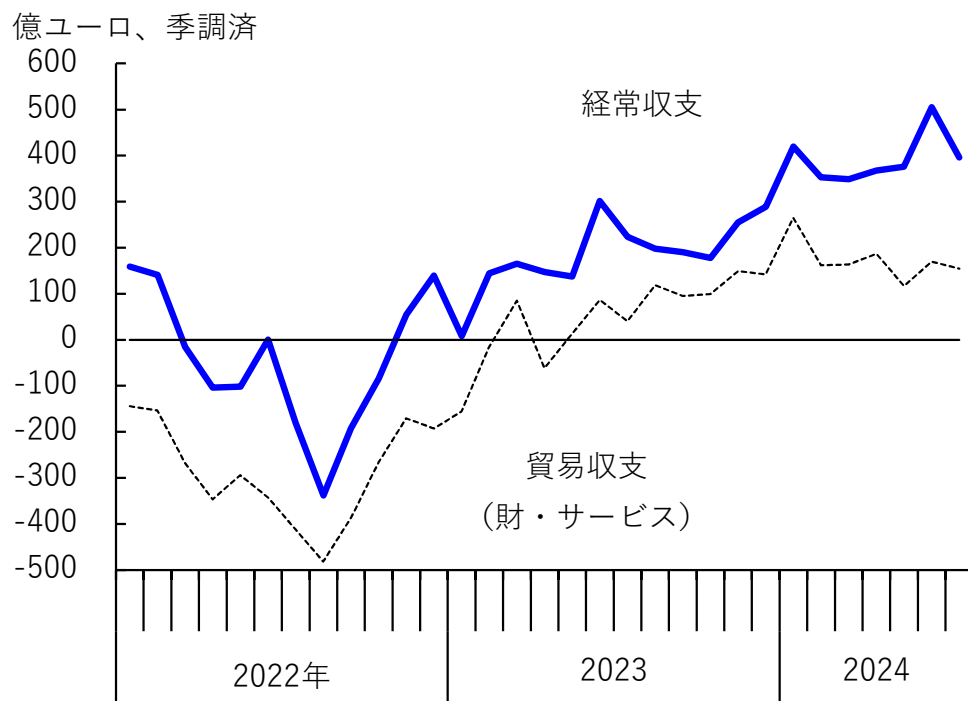
出所：欧州委員会統計局

7月の貿易収支は輸入の増加を受けて黒字幅がやや縮小



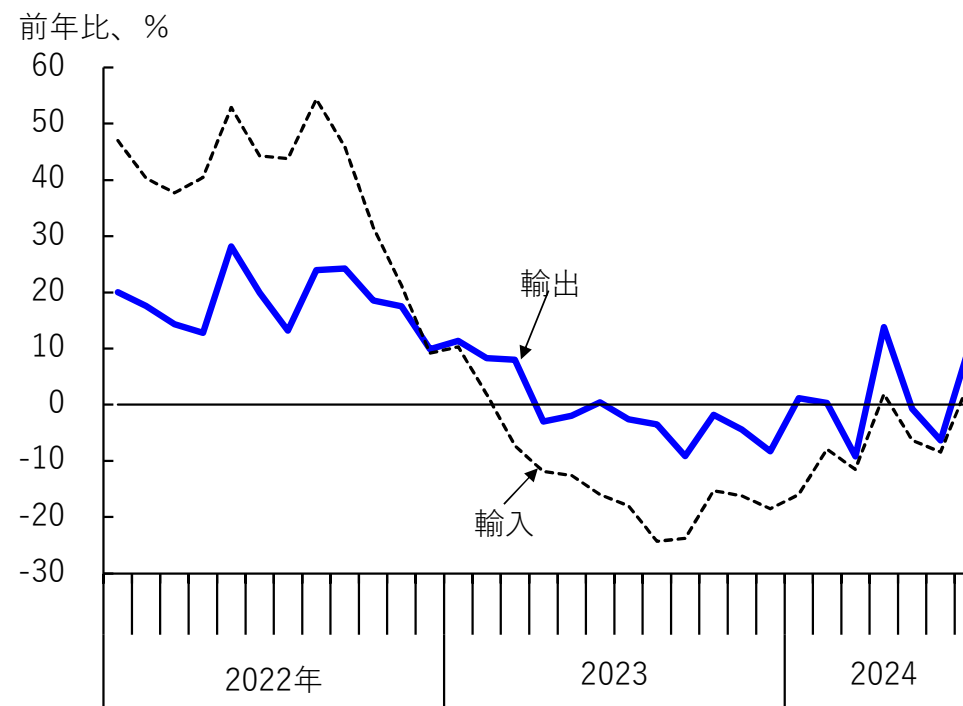
- 7月のユーロ圏の経常収支黒字（季調値）は396億ユーロと、前月に比べ縮小した。
 - 同月のユーロ圏の貿易収支黒字（季調値）も155億ユーロと、前月からやや縮小した。
- 7月のユーロ圏の財の輸出（原数値）は前年比+10.2%、財の輸入は同+4.0%と、ともに前年比プラスに転じた。
 - なお、季調値でみると、7月は財の輸出（季調値）が前月比+0.8%、財の輸入が同+1.6%となり、輸入の伸びが輸出の伸びを上回った。

ユーロ圏経常収支



出所：欧州中央銀行、欧州委員会統計局

ユーロ圏の財の輸出入

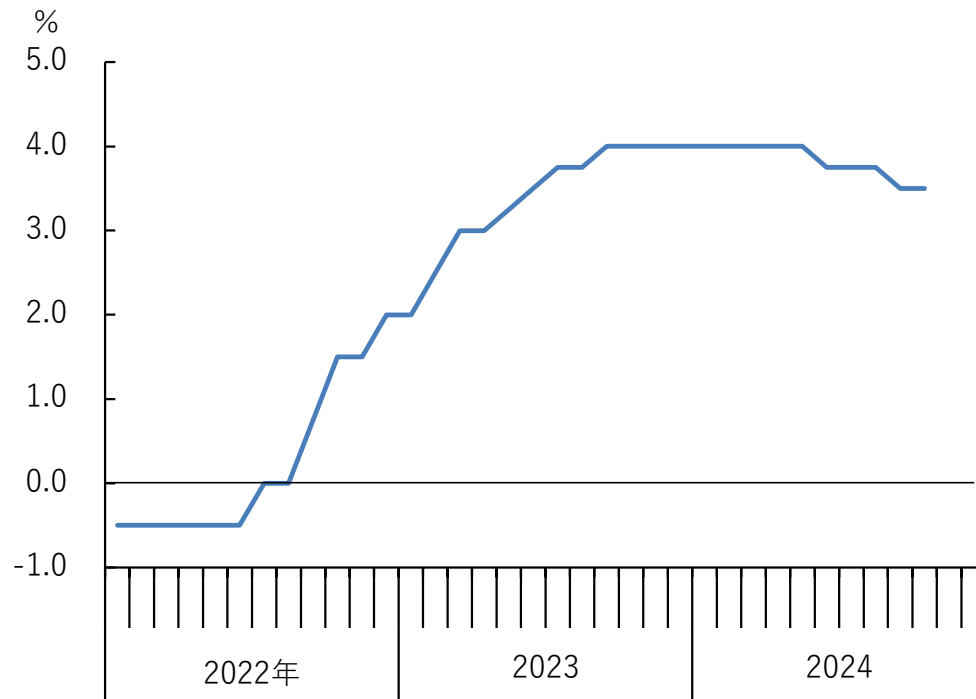


出所：欧州委員会統計局



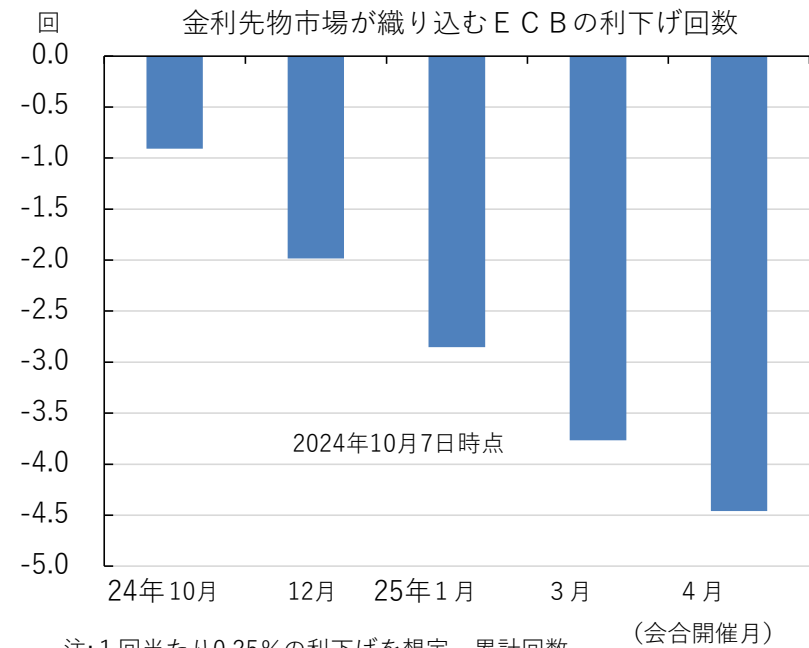
- 9月12日、欧州中央銀行（ECB）は政策理事会を開き、主要政策金利の中銀預金金利を3.75%から3.5%に引き下げた。利下げは6月の会合以来となる。
 - ーラガルドECB総裁は理事会後の記者会見で、先行きの利下げについて「データ次第」で「特定の道筋を事前に確約しない」と発言した。
 - ー9月の消費者物価上昇率の鈍化などをを受けて、金利先物市場では次回10月17日の理事会での0.25%の利下げをほぼ織り込んでいる。

欧州中央銀行の政策金利（中銀預金金利）



出所：欧州中央銀行

金融市場の利下げ予想



注：1回当たり0.25%の利下げを想定。累計回数。
なお利下げ回数のため、マイナス表記にしている。

出所：Bloomberg



浜銀総合研究所



2024年10月8日
調査部 特任研究員
北田 英治

浜銀総合研究所では、景気動向に関するレポートなどの発行情報をメールにてお知らせしています。ご関心のある方は、下記のサイトより、「レポート更新情報お知らせメール」（無料）にご登録ください。

【URL】 https://www.yokohama-ri.co.jp/html/inquiry/inquiry_repo.html?nno=5